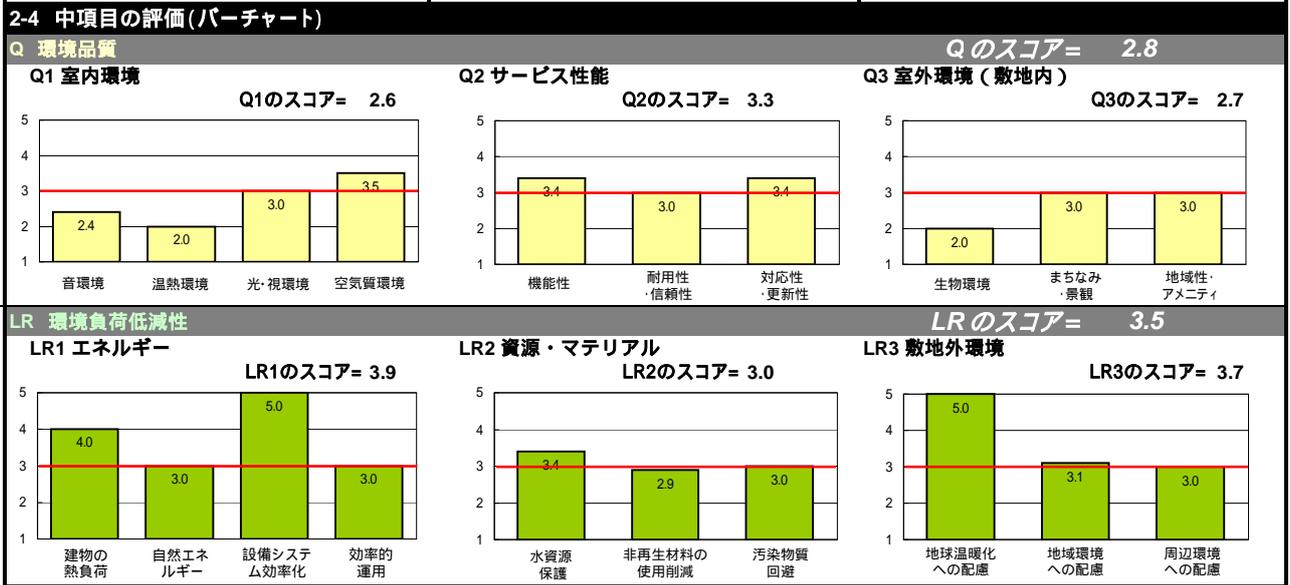
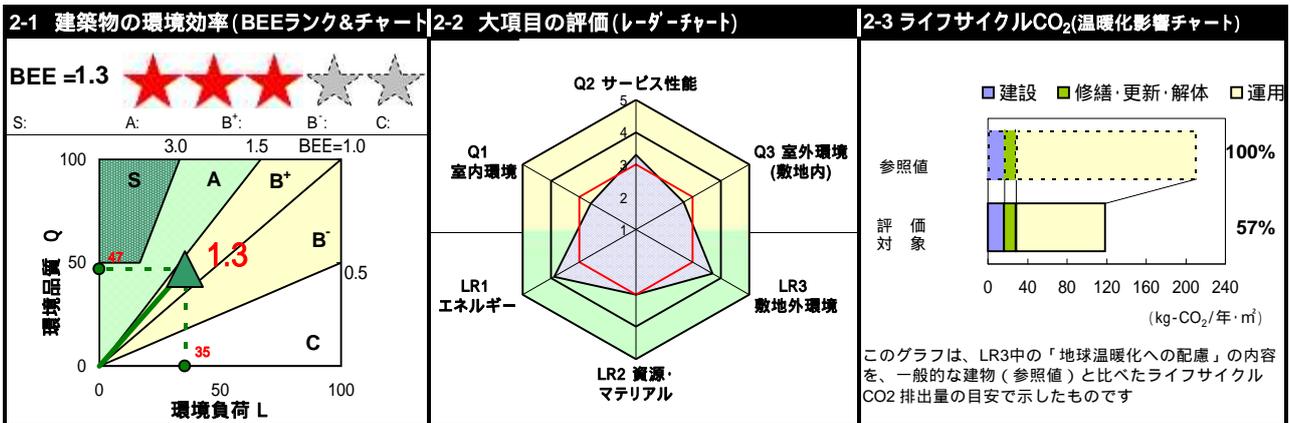


CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2008年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)りんかんモール	階数	地上2F
建設地	神奈川県大和市	構造	S造
用途地域	準工業地域、防火地域	平均居住人員	3,200 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	4,380 時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2011年2月 予定	評価の実施日	2010年12月28日
敷地面積	41,542 m ²	作成者	(株)東畑建築事務所
建築面積	15,836 m ²	確認日	
延床面積	17,960 m ²	確認者	



3 設計上の配慮事項		
総合	来客者にとって分かりやすく、魅力的であり、商業者がオペレーションしやすく、管理運営の容易な建物とすること。	その他 0
Q1 室内環境	快適な買物環境に必要なかつ十分な照明、空調、換気要領が確保されること。	Q3 室外環境(敷地内) 必要かつ十分な駐車台数を確保した上での敷地内緑化や屋上緑化、賑わい感を演出しつつも、周辺環境への影響を抑えた低層建物
LR1 エネルギー	外皮に必要な断熱性能を確保、高効率空調設備やLED照明等の省エネ設備の採用	LR3 敷地外環境 安全でスムーズな交通計画、発生騒音に配慮した設備機器設置計画、敷地外流出雨水の抑制
Q2 サービス性能	充分に高い天井高で快適な店舗空間、不特定多数の来客者に対応したバリアフリー、保守管理が店舗運営の妨げにならない設備機能。	
LR2 資源・マテリアル	節水機能を備えた衛生設備の採用	

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい